

■重点施策について

◇重点施策1) 糖尿病の発症予防と重症化予防の推進

糖尿病の発症予防と重症化予防の取り組みは、血管を守る取り組みであり、高血圧や脂質異常症等生活習慣病の予防にも寄与するものです。市民の健康増進とともに医療費の低減にもつながることから、正しい知識の普及や生活習慣の改善に向けた各種の周知啓発をさらに進めること、医療と連携し、健診による疾病の早期発見・早期治療、保健指導の実施率の向上、さらに疾病がある場合には重症化予防に向けての取り組みを進めていきます。これらを計画的にすすめるため、糖尿病対策ガイドラインを策定し推進します。

◆重点的に取り組む指標目標

◎糖尿病有病者の増加抑制…国民健康保険特定健診受診者のうち有病者を指標として増加抑制を図ります。

数値目標項目	策定時 (平成23年度)	中間評価時 (平成28年度)	現状値 (平成29年度)	改定目標値 (平成35年度)
糖尿病有病者の増加抑制 (国保特定健診受診者)	9.9%	11.6%	10.7%	増加抑制

※国民健康保険特定健康診査受診者のうち、糖尿病有病者である人の割合

◆重点施策1の取り組み例(担当課)	平成28年度実績	平成29年度実績
特定健康診査の受診勧奨(保険年金課)	9月 9,986通 12月 14,197通	9月 8,449通 12月 13,660通
特定健康診査の実施(保険年金課)	37.9% (受診者6,507人/対象者17,164人)	36.5% (受診者6,117人/対象者16,763人)
特定保健指導の参加勧奨(健康増進課)	通知送付739人 電話勧奨407人	通知送付684人 電話勧奨396人
特定保健指導の実施(健康増進課)	27.7% (実施者205人/対象者739人)	29.5% (実施者202人/対象者684人)

成果

・プレ特定健診や特定健診の事後フォローとして支援が必要な対象者に個別通知を実施した。適正体重の維持や食生活などの生活習慣指導を行ったことで、自身の生活習慣を振り返る機会となった。

課題

・糖尿病発症予防のため、特定健康診査、特定保健指導の参加利用を促し、自身の健康状態を知ること、生活習慣を振り返る機会が必要である。

平成30年度の取組

・特定健康診査結果返し会を実施し、併せて運動教室や薬剤師会によるミニ講座を実施する。

◇重点施策2) 子どもの頃からの健全な生活習慣の確立

子どもの頃からの健康づくりには、家庭、保育所等や学校、地域等みんなで取り組むことが必要です。具体的には、保育所等や学校等での食・運動など健康づくりの取り組みを引き続き推進していくとともに、妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援により、安心・安全に子育てができるような施策の推進や、地域での食や運動の取り組みをすすめます。子ども自身が健康づくりについて学び、実践できるよう環境づくりを進めていきます。

◆重点的に取り組む指標目標

◎朝食を食べない子どもの率の減少…児童生徒を対象として朝食を食べない子どもの減少に取り組めます。

数値目標項目		策定時 (平成24年度)	中間評価時 (平成28年度)	現状値 (平成29年度)	目標値 (平成35年度)
朝食を食べない子どもの率の減少	小学5年生	2.1%	3.9% (46人/1173人中)	2.5% (33人/1320人中)	0%
	中学2年生	3.3%	6.2% (65人/1050人中)	5.6% (59人/1056人中)	0%

※「学校における食育の日の取組調査」結果で朝食を時々食べる、または食べない子ども（小学5年生、中学2年生）の割合

◆重点施策2の取り組み（担当課）	平成28年度実績	平成29年度実績
食育料理教室（健康増進課）	2回 参加者39人	2回 参加者40人
食育だよりの発行（幼児課）	毎月	毎月
野菜の栽培・収穫を通しての食育の推進（幼児課）	公立保育所・こども園で実施	公立保育所・こども園で実施
赤ちゃんの駅栄養相談（子育て相談センター）	18回	15回
草津市児童生徒歯と口の健康づくり推進事業（スポーツ保健課）	20校/20校中	20校/20校中

成果

- ・食育料理教室は、親子で栄養バランスなど食を学ぶ機会となっている。
- ・保育所・こども園等では、園児の実態に合わせて、手洗い・うがい指導、歯磨き、栄養に関する必要な指導が行われている。
- ・各小中学校で食育月間、食育の日の取組や指導を行い、地域や保護者と連携し、コメ作りなど特色ある食育指導が実施できた。
- ・朝食を食べない子どもの率が平成28年度に比べ、平成29年度は減少している。
- ・健康推進員による幼稚園等での歯科啓発により、園児たちが自ら歯磨きする等の行動につながっている。

課題

- ・朝食を食べない子どもの率は、学区により減少率が異なっており（*参考資料）、学区の現状に応じた啓発が必要である。
- ・食育料理教室の参加者は開催場所近隣に住む者が多く、参加しやすい方法を検討する必要がある。

平成30年度の取組

- ・健康推進員による子どもを対象にした食育活動を推進する。

◇重点施策3) 働く世代の健康づくり

働く世代の生活習慣や健康状態は、子育て世代として子どもの健康や、自分自身が高齢となつてからの健康にも影響します。自らの健康は自らがつくるという意識をもち、年齢や健康状態に応じて具体的な健康づくりの行動ができることが必要です。働く世代が所属する企業や団体、協会けんぽ等の被用者保険組合と連携した健康増進対策へのアプローチとして、健幸都市宣言の賛同を企業へ働きかけ、企業と連携した健康づくりの取り組みを進めます。また働く世代がよく利用する施設での健康づくりのイベントなど、健康への関心を高める取り組みも進めます。

◆重点的に取り組む指標目標◆

◎運動習慣者の増加…働く世代を対象に運動等を習慣とする人の増加を目指します。

数値目標項目		策定時 (平成21年度)	中間評価時 (平成27年度)	現状値 (平成29年度)	目標値 (平成35年度)
運動習慣者の増加(30分・週2回以上の運動を1年以上継続している人の増加)	20~69歳男性	16.5%	23.0%	調査なし	26.7%
	20~69歳女性	13.0%	15.8%	調査なし	23.8%

※「滋賀の健康・栄養マップ調査」の回答者のうち、1回30分以上の運動を週2回以上のペースで1年以上継続している人の割合

◆重点施策3の取り組み(担当課)	平成28年度実績	平成29年度実績
くさつ健幸ポイント制度(健康増進課)	参加者703人	参加者827人
禁煙推進事業:禁煙チャレンジ事業(健康増進課)	—	4事業所 10人達成
食と運動のヘルスチェックデー(健康増進課)	6回 参加者延578人	4回 参加者延522人

成果

- ・くさつ健幸ポイント制度の参加者アンケートにおいて運動習慣がついた、体調が改善した、ストレスが軽減したなどの回答が多くみられ、健康づくりのきっかけづくりになっている。
- ・健康推進アプリ「BIWA-TEKU」の運用を開始した。利用者は30~50歳代が多く、働く世代の健康づくりのきっかけづくりになっている。
- ・健幸都市宣言を行っている事業所と連携し、禁煙推進事業を実施した。禁煙したい人が禁煙できるよう必要な支援ができた。
- ・食と運動のヘルスチェックデーは、商業施設や市のイベントにあわせて実施したことで、30~40歳代の健康づくりに無関心な世代にも食や運動を通じて健康への関心を高める啓発を実施できた。

課題

- ・くさつ健幸ポイント制度の参加者は60~70歳代が中心で、以前から健康づくりに取り組んでいる方が多い。
- ・青年期・壮年期の働く世代への健康づくりのアプローチが必要である。

平成30年度の取組

- ・健康推進アプリ「BIWA-TEKU」の運用開始(H30.1.10~)。
- ・健康推進アプリ「BIWA-TEKU」の積極的な啓発(広報くさつ、市ホームページ、Facebook、びわ湖放送(草津スケッチ)、民間情報誌、各種イベントでの登録会など)を行う。

◇重点施策4) 地域で取り組む健康づくり

市民が身近な地域での健康づくりに取り組めるような環境や仕組みづくりをすすめていくために、地域ごとの健康状態についての様々なデータを分析し、地域の健康特性等の情報提供を行います。まちづくり協議会などの地域の団体が地域の特性にあわせた健康づくりのサポーターの育成や、健康づくりの活動がしやすい環境づくりなどが行えるよう健幸宣言の実現に向けた、地域等の主体的な健康づくりの取り組みを支援します。

また、ライフスタイルや価値観が多様化するなかで、地域課題を解決していけるよう、協働のまちづくりをすすめます。

◆重点的に取り組む指標目標◆

◎健康推進員数の増加…地域で活動する健康推進員の増加を目指します。

数値目標項目	策定時 (平成23年度)	中間評価時 (平成28年度)	現状値 (平成29年度)	改定目標値 (平成35年度)
健康推進員数の増加	185人	180人	185人	205人

※健康推進員養成講座を受講し、修了後、地域で健康づくり活動をする健康推進員の人数

◆重点施策4の取り組み(担当課)	平成28年度実績	平成29年度実績
健康推進員養成講座(健康増進課)	10回 延109人参加	12回 延160人参加
健康推進員の現任研修(健康増進課)	8回 延340人参加	7回 延228人参加
健康のまち草津モデル事業(地域保健課)	4学区まちづくり協議会	7学区まちづくり協議会
食品表示学習会(生活安心課)	1回 参加者35人	1回 参加者34人
認知症サポーター養成講座(長寿いきがい課)	53回 参加者1,855人	37回 参加者1,337人

成果

- ・健康推進員養成講座の受講時間数の見直し(40時間→30時間)を行ったことで30~40歳代の受講生が増加した。
- ・健康推進員が「糖尿病予防」「親子の食育」などをテーマに調理実習や講話等を行い、幅広い世代に対して健康づくりの啓発を実施できている。
- ・認知症サポーター養成講座の開催により、認知症を正しく理解し、地域で温かく見守る活動につながっている。
- ・介護予防に取り組む団体に対して活動の立ち上げ支援や継続支援が実施できた。

課題

- ・学区によって健康推進員の人数に差が生じており、活動が困難な地域がある。

平成30年度の実績

- ・各学区のデータ分析を行い、学区の健康課題や特性を明らかにし、健康なまちづくりを進めていく。

◇重点施策5) 企業、団体、大学等との多種多様な協働による健康づくり

企業や団体の中には、組織に所属する人々の健康づくりだけではなく、自らの得意な分野を活かして、個人や地域の健康づくりへアプローチすることにより、新たなビジネスを生み出したり地域貢献を行っているところがあります。こうした健康づくりの情報を共有し、多種多様な主体の協働による健康づくりの取り組みがすすめられるよう、様々な視点で健康を捉えて連携する仕組みづくりも必要です。

また、市民が日常的に健康づくりに関する情報に接することができるよう、市からの情報発信に加えて他機関、団体等との連携による情報発信を推進します。

◆重点的に取り組む指標目標◆

◎食品中の食塩や脂肪低減に取り組む飲食店の増加…外食栄養成分表示やヘルシーメニューの提供等、健康づくりに協力いただける飲食店等事業所の増加を目指します。

数値目標項目	策定時 (平成24年度)	中間評価時 (平成28年度)	現状値 (平成29年度)	目標値 (平成35年度)
食品中の食塩や脂肪低減に取り組む飲食店の増加(外食栄養成分表示店の増加)	3店舗	3店舗	3店舗	増加

※県事業「しがの健康づくりサポーター」に登録している飲食店(各メニューのカロリー表示、ヘルシーメニューの提供、減塩、薄味、油控えめのメニューを提供する等に取り組んでいる飲食店)数

◆重点施策5の取り組み(担当課)	平成28年度実績	平成29年度実績
禁煙推進事業:禁煙チャレンジ事業(健康増進課)	—	4事業所
食と運動のヘルスチェックデー(健康増進課)	2商業施設	2商業施設
食育推進デー(健康増進課)	2店舗	3店舗(参考H30:4店舗)
草津版ヘルスツーリズムの構築に向けた調査・検討(企画調整課・商工観光労政課)	—	・ワークショップ 実施5回(参加18団体、113人) ・モニターツアー 実施4回延参加者43人:日帰り21人、1泊2日21人 ・モニターツアー参加者:ツアー前の期待度3.8点/5点、ツアー後の満足度4.5点/5点

成果

- ・大型商業施設との連携により、あらゆる世代に野菜摂取量の増加と地産地消に興味を持ってもらうための啓発を実施できた。
- ・草津版ヘルスツーリズムの構築を目的としたワークショップ等を実施したことで様々な団体間の関係づくりにつながった。
- ・飲食店の食育に対する意識や取組アンケート結果から、市と飲食店が協働して実施する平成30年度の食育推進事業につながった。
- ・健幸都市宣言賛同事業所が平成28年度末80事業所から、平成29年度末には116事業所に増加している。

課題

- ・企業、団体等と健康づくりの情報を共有し、協働による健康づくりの取組が必要である。

平成30年度の取組

- ・飲食店と連携し食育チャレンジ事業を実施する。
- ・商業施設における複数の企業と協働した啓発イベントを実施する。